

令和8年度実施予定事業

1. **男性の料理教室「魚の捌き方講座」**
6月21日(日)午前 予定
わろうべの里 食のスタジオ
講師：市内居酒屋「千倉亭」
店長：清宮久穂さん
2. **トイシから考える
男女共同参画講座(仮題)**
9月 予定
わろうべの里 多目的ホール
3. **映画上映会**
令和9年1月 予定
わろうべの里 多目的ホール



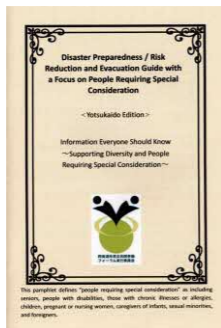
参考図書紹介

「地域主権という希望」 岸本聡子著
大月書店

＜生きることは、政治的である＞
21世紀のフェミニズムの書。
環境、コモンズ、ムニシパ
リズム(地域主権主義)、民主
主義、そしてケア。市民による
市民のための政治を、いかに
市民の力で実現するのか、その
知恵がこの一冊に！
推薦・岡野八代(同志社大学教授)

※英語版 完成！

**Disaster Preparedness/
Risk Reduction and
Evacuation Guide with
a Focus on People
Requiring Special
Consideration**
<Yotsukaido Edition>



※日本語版

**要配慮者支援の視点を入れた
防災・減災・避難所ノート**
＜四街道版＞
“あらゆる人に知ってほしい”
～要配慮者支援と多様性配慮～

配布場所
市役所 地域共創部 みんなで課
旭公民館・千代田公民館・四街道公民館
わろうべの里

市内で活動する人・団体紹介

四街道市消防団 女性部

平成17年に発足し、現在30代から60代まで20名が活動しています。機関員訓練、救助活動など男性と一緒に女性団員も参加。消防団員が減少する中、女性団員は増加しています。活動にやりがいを感じていることが伝わっているからだと思います。

女性部は、分団詰め所と消防車を保有し、火災出動、夜警、防火の呼びかけ等に使用。自治会・小学校等へ出向いて行う防災教室では、応急処置、AEDの使い方の指導をしています。

消防団活動には女性にしかできないこと、女性がしたほうが安心してもらえることがあります。子どもや女性傷病者への対応では特有の配慮を求められるケースがあり、女性傷病者への適切なケアを提供し安心感を与えるためにも女性による応急手当てが現場で重要な役割を果たします。

SNSで活動の様子を発信していますので、のぞいてみてください。

部長 原名由里子



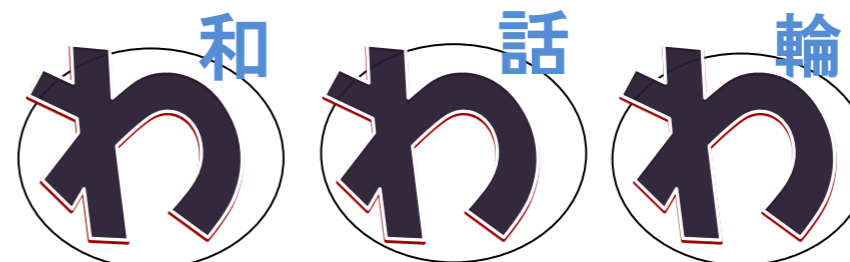
編集後記

- 杉並女性区長誕生までのドキュメント。地域主権をキーワードにして、区長を誕生させた応援の女性たちが、自らも議員となって区長と共に、政治に参加していく。あとに続こう。(A)
- 女性には「ガラスの天井」が垂直方向、「ガラスの壁」が水平方向の障壁。女性が昇進のために上る階段は最初から壊れているのが「壊れたはしご」。まだまだ、道半ばです。(F)
- 性的同意が教材に明記されるとのこと。刑法改正や子どもへの性暴力被害が深刻な実態を受け、「生命の安全教育」に盛り込まれる。一步前進！(K)
- 桶川ストーカー殺人事件を機に2000年に制定されたストーカー規制法、対策が強化されてきたが相次ぐストーカー殺人事件、何とかならないか。(S)

※一緒に活動する仲間をいつでも歓迎します。
問い合わせ先：市役所 地域共創部 みんなで課
TEL：043-420-7525
E-mail：yminnade@city.yotsukaido.chiba.jp

四街道市 男女共同参画社会づくり通信

第18号



男女があらゆる分野に参画し、その個性が発揮できるまちづくりをめざして

編集・発行
四街道市男女共同参画
フォーラム実行委員会
令和8年3月発行

四街道市男女共同参画フォーラム実行委員会は男女共同参画意識の啓発を図る活動をしています。



監督：
ペヤンヌマキ

「映画 〇月〇日、区長になる女。」
上映会&フリートーク

日時：2026年1月24日(土)13:00~15:45
会場：わろうべの里 1F 多目的ホール

地縁・血縁なし、政治経験も行政職の経験もない素人、よそ者のくせにといわれた岸本聡子さんが女性初の杉並区長に当選するまでの市民選挙型のドキュメンタリー映画です。格差や貧困といった負のスパイラルに歯止めをかけ、人々の生活や環境が持続可能で誰もが自由に生きていける社会を創りたいという思いに共感した住民が、自然発生的に区内の主だった駅で1人街宣をしていくという変わり種スタイルの選挙運動を展開。結果、その1人街宣者達が次の議員立候補へとつながっていく。新たな住民自治「地域主権」社会を実践していく杉並区に希望を託したい。



＜フリートーク・参加者の感想から＞

- 情報を持っている住民。岸本さんを地域に呼ぶ力すごい！
- パワー、エネルギー、市民の和、支える女性達に拍手。
- とても元気をもらえました。地域主権、新鮮に受け止めました。
- 前からこの映画に興味があったので参加。住民の意識、関心を広く持ってもらうために何が必要かを考えさせられた。
- 元気が出る会でした。自分事として考えた住民パワーがすごい！多くの人に見て欲しい。
- 皆さんの意見が聞けて良かった。
- 四街道市でも何か出来るかなと元気をもらえた。

～民間の支援者としての立場からみてきたこと～



日時：令和7年9月6日（土） 9：30～12：00
 会場：わろうべの里 多目的ホール
 講師：小山内世喜子さん（一般社団法人 男女共同参画地域未来ねっと 代表理事）

講師の小山内世喜子さんは、東日本大震災での被災経験から DVD「安心できる避難所づくり」を作成。防災・減災・避難所運営について全国各地で活動され、能登半島地震の被災地支援にも尽力されています。
 今回は新潟からの ZOOM ウェビナーによるオンライン講座です。



講演の概要

被災者支援で大事にしていることは、①災害関連死ゼロ ②誰一人取り残さない被災者支援（ジェンダーの視点から見た被災者支援）

災害時には平時における社会の課題が顕在化する。平時から、ジェンダーの視点から見た問題・課題を解決しておくことが大事である。

平時の社会の課題		災害時
意思決定の場に女性が少ない/いない	⇒	災害対応や復旧・復興で女性の意見やニーズが反映されず、必要な支援・物資が提供されない
「男性は仕事」「女性は家庭」といった性別を理由とした役割分担意識が根強い	⇒	避難所運営で男性がリーダー、女性は食事や片付けなど、特定の役割が片方の性に偏る
DVや性暴力など女性に対する暴力	⇒	避難所などでプライバシーが守られないことや、様々なストレスや制約が重なることなどによりDV・性暴力のリスクが高まる
女性は非正規雇用で働く場合が多い（女性の被雇用者のうち、非正規で働く人の割合は56%）	⇒	解雇・雇止めなどの対象になりやすく、世帯収入が減る・途絶する

平時にできないことは、災害時になおさらできない。
 災害時のために「平時からのジェンダー平等・多様性のある地域づくり」を。

能登半島地震の被災者支援から見えてきたことは、女性リーダーがいる避難所はみんなが助け合い、ひとりひとりが尊重される明るい避難所だった。行動できる、発言できる「女性防災リーダー」の育成が必要である。

グループでの話し合い 感想から

- 自治会として、防災に男女共同を反映していきたい。
- 「平時にできないことは災害時になおのことできない」本当にそうだと思います。
- 平時からのつながりが大切であることを知った。
- 女性の意見をもっと入れた避難所運営が必要かと思う。訓練のやり方も配慮する必要がある。
- 避難所では女性のリーダーの役割大！
- 防災に関する活動をしている団体との情報交換の場があるとよい。



「父子で手作りピザ“マルゲリータ”に挑戦！」第2弾

日時：令和7年6月22日（日） 9:30～12:30

会場：わろうべの里 食のスタジオ

参加者：父子6組（13人）

講師：後藤友亮さん（市内イタリアンレストラン GOCHI シェフ）



昨年に続きピザマルゲリータ講座は第2回の取り組みになります。
 定員を大幅に超える申し込みがあり、今回も抽選で参加者を決めさせていただきました。



①講師の説明を真剣に聞きます



②生地を混ぜて発酵させます



③発酵前と後の生地を触ってみよう



④刻んだ玉ねぎとトマトの水煮缶でピザソースを作ります



⑤ピザソースとモッツァレラチーズ、バジルをトッピングしてオープンへ



⑥出来上がり！美味しい！

＜参加者の感想から＞

- とても良かった。 ○子ども（孫）と共同作業ができて楽しかった。
- 差し替え用の発酵済み生地が用意されていて感動。生地は本当においしかった。
- 生地を伸ばすのは難しかったが面白さがあった。コツをつかむまで何度もチャレンジしたい。